夢のつづき〔毎月１日発行〕／第22巻第9号／通巻第220号・平成26年1月1日発行
平成4年10月2日第三種郵便物認可・年間購読料1,700円（郵便料共）

させぼ夢大学

発行●公益社団法人 させぼ夢大学
編集委員会
事務局／〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
http://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp
お尋ねテレホン 25-9556

夢のつづき

させぼ夢大学会報

No.220〈2014・1〉

平成25年度 第9回

2014年 1月16日(木)
アルカスSASEBO 大ホール

●開　場　午後5:30
●夢のひろば　午後6:00
●講　演　午後6:30

今回は、ジャーナリスト･ニュースキャスター・コメンテーター等マルチで活躍されている、みなさん良くご存知の鳥越俊太郎さんです。

数多くのテレビ出演で、分かり易く、核心を突く語りは、見る者の心に感動を与え続けておられます。番組の中で“がん”である事を告白して、世間の注目を集め、がん患者の団体機構の３代目理事長をされたり、一般社団法人CSRのプロジェクト（ガン患者の就労を考えるプロジェクト）会長を歴任されるなど、一貫してがんに対する姿勢を貫かれています。

「病と向き合い克服して人は強くなれる」・「がんを患ってから何事にも前向きに挑戦できるようになった」と、４回の手術をされた体験をもとに、がんになった人生に感謝するとも話されています。

数多くの著書を通して、社会悪に対する論評も鋭く、その時々に起こる事件・事故に対するコメントは、常に世論の評価を受けられ、私達に勇気を与えています。

70歳からの肉体改造にも挑戦される等、全てに前向きの姿勢は、ジャーナリスト鳥越さんの生き方そのものです。講演でがんと向き合う生き方の示唆にご期待ください。

講　師●ジャーナリスト **鳥越（とりごえ）　俊太郎（しゅんたろう）氏**

テーマ●がんと向き合って

次回のご案内

■と　き／**2月20日(木)**
■講　師／作家・東京家政大学特任教授
落合（おちあい） 恵子（けいこ）氏
■テーマ／**命の感受性**

●昭和20年栃木県宇都宮市生まれ。明治大学英米文学科卒業後、42年文化放送入社。アナウンサーを経て作家生活に入る。子供の本の専門店「クレヨンハウス」と女性の本の専門店「ミズ・クレヨンハウス」を主宰。又、子供から文化と教育を考える「月刊子ども論」、育児と育自を考える「月刊クーヨン」を発行。更に「安全なものはおいしい」というテーマで「食」の問題にも取り組んでいる。著書に「こころの居場所」「絵本だいすき!」「母に歌う子守歌 わたしの介護日誌」「崖っぷちに立つあなたへ」等多数。

鳥越俊太郎 氏のプロフィール

●昭和15年福岡県吉井町（現うきは市）生まれ。40年京都大学文学部卒業後、毎日新聞社入社。社会部やテヘラン特派員を経て63年サンデー毎日編集長。平成元年毎日新聞社退社、「ザ・スクープ」キャスター。以後、「ザ・スクープスペシャル」キャスター、「スーパーモーニング」コメンテーターの他、20年よりBS朝日「鳥越俊太郎 医療の現場!」に出演中。13年「日本記者クラブ賞」、16年ギャラクシー賞報道活動部門大賞受賞。著書は「がん看者」「桶川女子大生ストーカー殺人事件」等多数。

1 2014

ロバート キャンベル 氏

語学力は興味と熱意とストーカー?!

佐世保市天神町　吉田　秀朕

日本人と勘違いするほどの流暢な言葉と内容のある話は、〝日本人より日本を良く知る外国人〟と言われるように、日本歴史に精通された講演は、聴く人の心に驚きを与えてくれました。その日本語は、18歳頃の大学時代に始めてスタートして今の状況になった事を聞いて、努力をすればここまでになるのだと感心するばかりでした。

幼い頃の成長過程で、ニューヨークのブロンクス時代に過ごした環境と人間関係が面白く語られました。今の日本に失われつつある隣人意識や周囲への関心が、当時過ごされたロバートさんの時代にはあり、その事が成長段階に大きく影響し感性を育んで、現在の人間形成が出来たのだと強く感じました。私達は一層、地域の出来事に関心を持つ事が必要だと痛切に感じさせられました。

週刊誌数社にエッセイを、NHK、民放各社の数本のレギュラー番組、その他コメンテーターとして活躍されている基礎は、異文化に興味を感じ、日本の江戸歴史をはじめ文化に対する深い造詣が蓄積され、その土台の上に表現され、聞く者・見る者に深い感銘を与えておられると改めて感じました。

日本人の褒め上手が、ロバートさんの言葉や表現向上のネックと話されて、私達が何気なく相手に話している生活の知恵の核心を突かれた様で、笑わずにはいられませんでした。

やさしく癒されました

佐世保市瀬戸越1丁目　阿部　禮子

オカリナアンサンブル「詩音」の演奏、幕開けから、やさしいオカリナの奏でる懐かしい音色、なんとわが故郷の民謡「こきりこ節」には、思わずハミングしながら歌ってしまった。あれは黒の低音パートのオカリナの音だったのではないだろうか?「竹田の子守唄」が突然、人のハミングの音に聞こえ、包まれるような音に癒されました。素晴らしかった。

ロバートキャンベルさんの美しい日本語、優しく謙虚な語り口で話される生い立ちの環境、原点の話。友人は「ドイツのおじいさんが飴を投げてくれる話は映画のワンシーンみたいだった」と言った。私も懐かしい映画を思い浮かべていた。馴染めない異国に移り住んだ老人の、人と触れ合えるささやかな楽しみだったのかもしれない。

日本人よりも上手な日本語とは申しません。でも、キャンベルさんのように美しい日本語を聞かせてくれる人は少なくなりました(NHKのアナウンサーでも稀になりました)。

ゆったり、ふんわり、そして豊かな今日の夢大学、ありがとう、感謝です。

何人にも順応出来る人柄

佐世保市奥山町　古賀　アキエ

生粋の米国人でどうして日本語が上手く、日本の歴史や文化を知り尽くしておられるのだろうと興味津々、受講させてもらいました。

米国生まれでもさまざまな他国からの移民の入り混じった所に育ち、苦労された祖父母からその中で生きる術を小さい時から学んでこられたのですね。

私のような穏和な田舎育ち、平々凡々に暮らしている者とは月とスッポン、生まれながらの頭の良さと旺盛な好奇心、何人にも順応出来る心の広さを持っておられたのですね。

私も好奇心だけはあるのですが、頭の悪さと人様に順応できないのが残念です。それでも夢大学で学び8年。少しは大海を知ることが出来ました。

時間があればもう少し、外国人から見る日本文学を聞きたかったですね。博多弁と日本の標準語の互いで苦労された話、面白かったです。

オカリナアンサンブル「詩音」のみなさんの演奏

講演を聴かれた感想をお待ちしています!

※締め切りは講演日の1週間後(必着)
※宛先は、させぼ夢大学事務局まで

三行感想文　夢のとびら

■「夢のひろば」のオカリナの演奏を聴き、懐かしい自分の子供時代を思い出すような、ほのぼのとした気持ちになりました。

ロバート キャンベルさんのお話は、耳になじみやすい声と語り口、そしてきれいな日本語での講演。子供時代のお話や、どういう風に日本語を勉強されるようになったかを、ユーモアを交えてお話をされ、日本の中に入って日本を見ていらっしゃるのを感じました。

来年度の新講演者の方々が決まったことをとても嬉しく感じ、来年も参加できたらと思っています。

佐世保市大宮町●田中　美祢

■テレビで見られるように笑顔で優しい感じのロバート氏。アメリカに移民された子孫とは。江戸文化で日本語に興味を持たれ、福岡で10年近く住まわれていたのに方言は出なかったですね。生徒さんと日本語を通じて他の国を知る事はいいですね。これからもテレビで拝見しています。

佐世保市木風町●西　照美

■日本の、そして日本語の素晴らしさ、美しさを、日本をこよなく愛し、理解し、さらにそこに生活の拠点を移して、しかも、それを美しい日本語と温かい眼差しで教育するということ自体の奇跡の瞬間に、夢大学生として居合わせることのできた至福のひと時に感謝。

佐世保市光月町●国松　仁志

■本日の講師、本当に米国人なのかと思わせる流暢な日本語を操られます。日本人よりも日本人らしいと言われることにちょっと抵抗を感じていらっしゃる様子でしたが、これ程日本の心、日本の歴史を学んでいらっしゃる事に大いに敬服いたします。と共に、今後もテレビ等での活躍を期待しております。

佐世保市赤崎町●木村　典子

異文化の限界を乗り越え 日本文化を探求！

日本語文化再発見

佐世保市南風崎町　横山　春美

理事長から来年度の講師のラインナップが発表されたが、政治経済、音楽、スポーツ、芸能など幅広いジャンルからの選定で楽しみだ。応募抽選での当選を期して、初詣で願掛けをしたい。

私は日本語の素晴らしさを日常から実感している。まず漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字と文字の種類が多く、それによって表現の多様性が生まれる。また言葉の曖昧さゆえに奥深さ、幅広さ、豊かさを表現できる。そして俳句、短歌、川柳など日本語独自の文化を育んできた。勿論それは日本人独特の素晴らしい感性の賜物でもあるだろう。

私は今回のキャンベルさんの講演を待望していた。テレビのクイズ番組でおなじみだが、その聡明さにはいつも感嘆することしきり。柔和な顔立ちで謙虚な姿勢、静かな語り口など好感を与える。「英語は結構うまいんですよ」とユーモラスな一面も。日本在住28年で淀みない日本語。日本文化への深い造詣。日本人以上に日本人と言われる所以だ。しかし、氏はそういう言われ方は否定されたのだ。そこにも氏の生き方が見える。「楽あれば苦あり」を例に挙げ、「輪」のように巡りめく表現や反対語を熟語にしている点は、アメリカとは異なると解説。これからも日本人が気づかない、日本文化の素晴らしさを探究、発見していただきたい、と切に願います。

夢のひろば

◆日　時／1月16日㈭
午後6時00分～20分

◆演　目／荻江節（おぎえぶし）「竹」

◆出　演／花柳（はなやぎ）貞成（さだしげ）

◆出演者紹介

花柳 貞成
花柳流師範
稲荷町の自宅において、日本舞踊の指導にあたっています。
貞成の会　会主

◆解　説

荻江節の御祝儀曲。
能の雰囲気を表現し、竹の素直さと柔らかさがうまく生かされている演目です。
荻江節は三味線音楽の一流派。
河東節、一中節などの浄瑠璃と共に古典として残されています。

1／16㈭の講演会当日、アルカスSASEBO会場にてのみ受付！

1. 定員は2000名。コンピュータによる**申込書単位での**「一括抽選」です。
2. 申込書は、Ⓐ**夫婦・家族学生用**とⒷ**個人またはグループ学生用**の２種類あります。いずれか一方でお申し込みください。申し込みはお一人様１枚とし、両方で申し込まれた時は一方を無効とします。
3. **学生番号の未記入は受け付けられません。**

ご注意下さい

4. 夫婦･家族学生（3名以内･同居）、及びグループ学生で申し込まれる方は、どなたかが現学生であれば受け付けます。
5. 当日欠席の方は、代理提出も可能です。
6. 年間受講料は、**個人またはグループ学生 1人 15,000円、夫婦・家族学生 1人 14,000円**です。
グループ学生については、郵便物はお一人ずつの住所にお送りします。

学生専用　平成26年度・第23期 受講申込書

Ⓐ 夫婦・家族学生用（2～3名）申込書

郵便番号　　－　　TEL（　　）　　－								
住所								
学生番号	025					性別	年齢	
フリガナ						男・女	歳	
① 氏名								
学生番号	025					性別	年齢	
フリガナ						男・女	歳	
② 氏名								
学生番号	025					性別	年齢	
フリガナ						男・女	歳	
③ 氏名								

Ⓑ 個人またはグループ学生（2～3名）用 申込書

※**個人**でお申し込みの方は、**①欄のみご記入**ください。
※**グループ**でお申し込みの方は、**①～③欄にご記入**ください。

個人学生

学生番号	025					性別	年齢
フリガナ						男・女	歳
① 氏名							
住所	〒　－　TEL（　）　－						

グループ学生

学生番号	025					性別	年齢
フリガナ						男・女	歳
② 氏名							
住所	〒　－　TEL（　）　－						
学生番号	025					性別	年齢
フリガナ						男・女	歳
③ 氏名							
住所	〒　－　TEL（　）　－						

夢のつづき〔毎月1日発行〕／第22巻第9号／通巻第220号・平成26年1月1日発行
平成4年10月2日第三種郵便物認可・年間購読料1,700円（郵便料共）

ふるさと古文書紀行 9

「佐世保の事件簿より」

寶亀（ほうき） 道聰（みちとし）

藩政時代、庶民の日常生活は藩の公的記録には残されていないが、事件性のある記録は残されている。平戸藩の『御家老日記』の中から、佐世保近辺で起きた事件をいくつか紹介したい。

・獄門　量刑の中で最も重い刑罰である。殺人強盗のような事件は勿論であるが、盗みでも極刑が科された。

天保九年（一八三八）、佐世保村 嘉吉・治平太の事例

「獄門　佐世保村　嘉吉

此者不届き筋これ有り、高嶋へ遠島せしむる処、島を抜け立ち帰り、盗み致し、去る五月九艘泊（くそうどまり）へ渡り、川口馬之丞宅へ忍び入り、麦・衣類盗み取り、同六月　山中触岩次郎宅へ忍び入り、着類・銭・米盗み取り、剰去（あまつさえ）る十一月、同村治平太申し合わせ、稲を取り重科によりて、市中引き回し

獄門　佐世保村　治平太

此者去る十一月、同村嘉吉申し合わせ、山中触にて稲を盗み取る咎によりて、此の如く行うもの也」

また、同年六月山口村藤助が牛を盗み獄門になっている。

当時の藩財政の基礎である農業の妨げは重罪に値した。

また、嘉永三年（一八五〇）十一月、崎針尾村佐助の連続窃盗事件が記録されている。これは夜に忍び入り、絹製の衣類や刀など、数日にわたり盗み取った事件で、

「数軒へ忍び入り、莫大の金高に相成り候品盗み取り、重科逃れ難きに付き、死罪申し付候」と極刑が科せられている。盗品の衣類等は早岐浦の数軒の質屋でまとめて売り払っている。その物色された品々は絹織物や更紗など高価なものが多く、被害にあった早岐周辺の地方給人や脇間などに、明治期を前に資本蓄積が進みつつあった事が推測される。

平戸の野元家文書「御旧記集録」の中にも、色々な事件が集録されている。

元禄八年、平戸藩下屋敷の詰め足軽だった今泉久右ヱ門が「女中乗物に付き外出の折、酒に酔い杖で犬を追い払い、乗物かきの人夫を打擲（ちょうちゃく）」したので、藩は平戸へ『道中囚人』として送り返し、小値賀枝島へ流罪に処した。

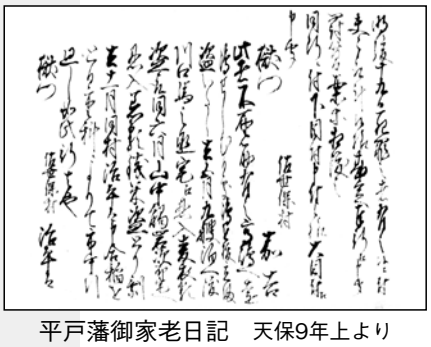
当時は五代将軍綱吉の時代で、「生類憐みの令」が出ている手前、藩としても公儀に従うポーズが必要だったと思われる。

この文書には『御褒美』も記録されている。

・元禄七年、佐々里免百姓 平次郎は「江里峠にて巾着拾い、市瀬庄屋に届け」、奇特なる仕業で『大麦壱俵』

・元文元年、日宇大塔村佐々右衛門方倅「家に侵入し女児に噛みつきし野犬退治」に『鳥目弐貫文』の褒美。

勿論、孝行者への褒美の記録も多い。



平戸藩御家老日記　天保9年上より

事務局だより

明けまして おめでとうございます

★ロバート キャンベルさん、ありがとうございました

限界を自分で作らずに努力することが大切というお話や、きめ細かな心配りや折り目正しいお姿には、感銘を受けました。キャンベルさんがご専門とされている江戸や明治等々、足元や来し方を省み、学びなおすことが今求められているということを、再確認させられたひとときでした。

★来年度受講生申し込みについて

募集方法は、申込書単位でのコンピューターによる「一括抽選方式」によります。申込受付期間は1月17日㈮から1月27日㈪です。**現学生の方に限り、1月16日㈭講演会の際にも受付を行います。当日欠席の方は代理提出も可能です。**

★来年度講師について

平成26年度第23期の講師は、交渉中も含めほぼ決定しました。来期も幅広い分野から著名な方々をお呼びします。ただし、皆さん大変ご多忙につきやむを得ず予定が変更となる場合があります。予めご了承下さい。

平成26年度（第23期）講演会予定

平成26年

4月17日㈭　開講式　手嶋　龍一氏
『日・米・中で考える』

5月15日㈭　滝田　　栄氏
『人を動かす力』

6月19日㈭　千住　　明氏
『音楽の楽しさ　心の豊かさ』

7月17日㈭　武田　邦彦氏
『日本発展のためのエネルギーと環境問題』

9月18日㈭　山田　久志氏
『栄光に道なし』

10月16日㈭　紺野　美沙子氏
『夢をもつことの大切さ～かがやいて生きぬくあなた達へ』

11月20日㈭　松平　定知氏

12月18日㈭　田部井　淳子氏
『世界の山々を目指して－元気の秘訣は山登り』

平成27年

1月15日㈭　梅沢 富美男氏〔交渉中〕
『私の役者人生』

2月19日㈭　須田　慎一郎氏
『どうなる！今後の日本経済』